

第2回 「外来語」言い換え提案

分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫

平成15年11月

国立国語研究所「外来語」委員会

第2回 「外来語」言い換え提案

分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫

提案の背景と目的

近年、一般になじみの薄い分かりにくい外来語が、国の省庁の行政白書や新聞など、公共性の高いものに数多く使われているという指摘があります。また、外来語の使用状況を見ると、読み手の分かりやすさに対する配慮よりも、書き手の使いやすさを優先しているように見えることがしばしばあります。

本提案の目的は、このような公共性の高い場面における外来語使用の現状をふまえ、分かりにくい外来語を分かりやすくするための方策を、言葉遣いの工夫として提示することにあります。提案の本体では、対象とした個々の外来語に対して、どのような言い換え語を当てるのが最も適切であるのか、また、外来語に説明を施すとしたらどのような表現を選べばよいのか、その目安・よりどころを具体的に示しています。

外来語には日本語をより豊かにするという優れた面もあります。しかし、むやみに多用すると円滑な伝え合いの障害となる面も出てきます。官公庁、報道機関など公共性の高い組織ではそうした事態を招かないよう、それぞれの指針に基づいて、言い換えや注釈など受け手の理解を助ける工夫をすることが大切です。本提案は、そのための基本的な考え方と基礎資料を提供するものです。

分かりにくい外来語とは

本提案では、外来語の分かりにくさを知るための目安として、その外来語の意味が国民にどのくらい理解されているのか、すなわち語ごとの「理解度」に着目しています。国民各層に対する調査に基づいて、その語の理解度の数値が一定の水準に達していなければ、それは未だ十分に定着していない外来語であり、分かりにくいものと考えました。

理解度は、大きく4段階に分けて把握することとし、語ごとに星印の数で、次のように表示しています。

- その語を理解する人が国民の4人に1人に満たない段階
- その語を理解する人が国民の2人に1人に満たない段階
- その語を理解する人が国民の4人に3人に満たない段階
- その語を理解する人が国民の4人に3人を超える段階

本提案では、 から までの3段階に属する語を「分かりにくい外来語」として扱っています。 の語は、すでに十分に定着している外来語であると考えました。

分かりやすくするために

一口に分かりにくい外来語と言っても、個々の外来語にはそれぞれに固有の背景事情があり、一律に機械的な扱いができるわけではありません。実際に分かりやすい言葉遣いを工夫するためには、それぞれの特性をとらえた上で、言い換え語を採用するのがよいのか、あるいは外来語に何らかの説明を付与するのがよいのか、一つ一つきめ細かな対応を考える必要があります。

本提案を利用しながら、分かりやすい言葉遣いを工夫する際に、いつも念頭においていただきたい留意事項を列挙すれば、次のとおりです。

(1) 語による理解度の違いに配慮を

星印による理解度の表示は、語により から まで大きな幅があります。対応の仕方の目安として、 の語は、最も分かりにくい外来語であり、公的な場面でそのまま用いることは避けるべき語と考えます。

の語も、現状では、外来語のままで用いることは避けたい語ですが、今後、普及定着に向かう可能性のある語も含まれています。 の語は、定着に向かって進行しつつあり、外来語を用いることにさほど問題のない場合も多いと思われませんが、幅広い層の人に理解してもらう必要がある場合には、まだ何らかの手当てが必要な語と言えます。

(2) 世代による理解度の違いに配慮を

星印による理解度の表示は、「国民全体」についての情報の外に、「60歳以上」の情報を特に取り上げて示しています。国民全体として見れば、理解度が

であり定着が進んでいるように見える語であっても、この年齢層を見ると、それより低い段階の に止まっている語が少なからず認められるからです。これらの外来語については、伝える相手の中に高齢層が含まれる場合には、言い換えや説明付与など何らかの手当てが必要となります。

(3) 言い換え語は外来語の原語に対するものではないことに注意を

本提案における「言い換え語」や「意味説明」は、あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり、外来語の元の言語である原語

の意味・用法をそのまま反映しているわけではないことに注意が必要です。

外来語の意味・用法が、原語での意味・用法から目立ってずれている場合は、その旨を「手引き」欄で言及するようにしています。例えば「バーチャル」の項の「手引き」欄では、「仮想」が言い換え語として適切である理由を、原語の意味・用法と対比させながら説明しています。

(4) 場面や文脈により言い換え語を使い分ける工夫を

同じ外来語でも、用いられる場面や文脈によって意味合いを変えることがあります。外来語にも意味の広がりがありますので、一つの言い換え語で全ての場合に対応できるわけではありません。場面や文脈によって言い換え語を適切に使い分ける工夫が必要となります。

例えば「トレンド」の場合、「傾向」のほかに「その他の言い換え語例」欄に示した「動向、流行」などの語例を参考にして、その場面や文脈に最もふさわしい表現を選択する必要があります。

(5) 専門的な概念を伝える場合は説明を付け加える配慮を

特定の分野で専門的に用いられる外来語は、その分野内での正確で迅速な伝え合いのためには効果的ですが、そのまま一般の人に対して使っても、理解されるとは限りません。適切な言い換えができればよいのですが、言い換えることでかえって概念があいまいになり、混乱が生じることも考えられます。

このような場合は、外来語を使いつつも、それに正確な説明を付け加えることがむしろ有効です。

(6) 現代社会にとって大切な概念の定着に役立つ工夫を

特定の分野で使われ始めた外来語のなかには、その語の表す概念が未だ一般にはなじみの薄いものであっても、現代社会にとっての大切な概念として、普及定着が望まれているものもあります。そのような外来語が、例えば語が長くて覚えにくいなど、普及にとって不利な条件をもつ場合には、あえて言い換え語を新しく造語するなど、定着に役立つ工夫をする必要もあります。

本提案では、「ノーマライゼーション」に対して、「等しく生きる社会の実現」という意味で、「等生化」という言い換え語を新しく造語しました。この語が「ノーマライゼーション」の表す概念の担い手の一つとなり、その普及定着に役立つのではないかと考えたからです。

本提案（第2回）で取り上げた語

アーカイブ archive	8	セクター sector	30
アイデンティティー identity	9	タスク task	31
イノベーション innovation	10	タスクフォース task force	32
インセンティブ incentive	11	ダンピング dumping	33
インフラ infrastructure (省略)	12	トレンド trend	34
エンパワーメント empowerment	13	ノーマライゼーション normalization	35
エンフォースメント enforcement	14	バーチャル virtual	36
オブザーバー observer	15	パートナーシップ partnership	37
キャッチアップ catch-up	16	バックアップ backup	38
グランドデザイン grand design	17	ビジョン vision	39
グローバリゼーション globalization	18	フレームワーク framework	40
グローバル global	19	ベンチャー venture	41
ケーススタディー case study	20	ボーダーレス borderless	42
コア core	21	ポテンシャル potential	43
コミュニケ communiqué フランス語	22	マーケティング marketing	44
コミュニティ community	23	マクロ macro	45
コラボレーション collaboration	24	マネジメント management	46
コンセプト concept	25	マルチメディア multimedia	47
サマリー summary	26	ミスマッチ mismatch	48
シミュレーション simulation	27	モニタリング monitoring	49
スクーリング schooling	28	モラルハザード moral hazard	50
セーフティーネット safety net	29	ライブラリー library	51

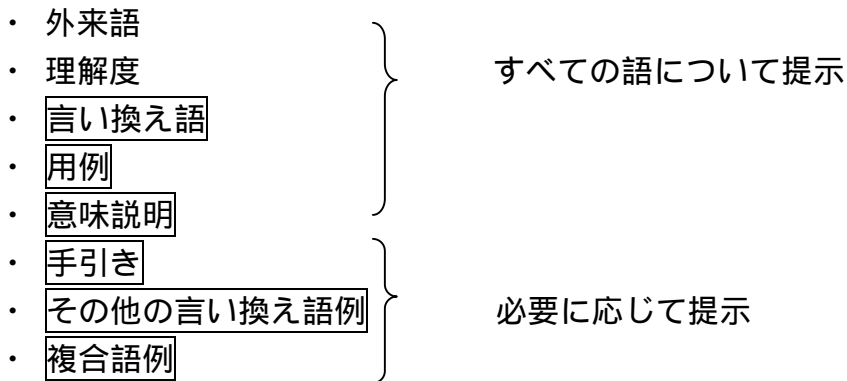
リアルタイム real time	52	ワークショップ workshop	54
ログイン log-in	53		

- * 外来語の表記法は、規範を示すものではない。
- * 外国語から直接取り入れられた語は、原語での綴りと言語名を示す。
- * 言語名の記載がないものは、原語は英語。
- * 本提案での言い換え語や意味説明は、あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり、原語の意味用法をそのまま反映しているわけではない。

凡 例

1. 対象とした外来語を五十音順に掲げる。

2. 語ごとに提示する情報の構成は次の通りである。



3. 外来語 には見出し語形を掲げる。ただし、これによって表記の規範を示すものではない。

4. 理解度 は外来語の右側に、国民各層に対する調査の結果に基づいて、語の理解度の段階を示す。その語の「意味が分かる」と答えた人の比率を、星印を用いて次のように表示する。国民各層を全体と60歳以上とに分けて掲げる。

25%未満
25%以上 50%未満
50%以上 75%未満
75%以上

5. 言い換え語 は、外来語を言い換えるのもっとも適当だと考えられる語を掲げる。意味区分のあるものは、(1)(2)...と区分し、区分ごとに言い換え語を掲げる。

6. **用例**は、外来語の使用例の典型的なものについて、その外来語の上に**言い換え語**を示す形で掲げる。使用例は、白書・新聞・ホームページの実例から採る。
7. **意味説明**は、意味や概念を簡潔明瞭に提示し、括弧書き・注記・文中展開などの方法で、外来語に対する説明として用いることのできる形で掲げる。
8. **手引き**は、**言い換え語**欄に言い換え語を並記した場合の使い分けの目安や**その他の言い換え語例**を使うべき場合などについて解説する。また、その外来語や、言い換えにあたっての、留意点を掲げる。
9. **その他の言い換え語例**は、**言い換え語**に示した語以外で、文脈や場面により、最適となる言い換え語がある場合に、掲げる。それらの使い分けなどが問題になる場合は、**手引き**に記す。
10. **複合語例**は、その外来語を含んだ複合語で、よく用いられるもののうち、**言い換え語**に示した語を機械的に当てはめることができないものにつき、具体的な言い換え語とともに掲げる。

アーカイブ

言い換え語 保存記録 記録保存館

用例

古いものも^{保存記録}アーカイブとして残し、情報として蓄積していくべき。

委員会は資料の保存と活用の両面から、京都でどのような^{記録保存館}アーカイブが最適かを来春をめどに決める。

意味説明

個人や組織が作成した記録や資料を、組織的に収集し保存したもの。またその施設や機関。

手引き

ものを指す場合、単に「記録」「資料」と言い換える方が分かりやすい場合もある。歴史資料の場合は「史料」と言い換えることもできる。

施設や機関を指す場合、国や自治体が公文書を保存・管理するものは「公文書館」、企業などが文書を保存・管理するものは「文書館」と言い換えることが適切になる。歴史資料の場合は「史料館」と言い換えることもできる。一般には、「アーカイブ」の語形が多く用いられるが、専門語としては「アーカイブズ」の語形が用いられることもある。

「ライブラリー」が、図書をはじめとする資料を収集し閲覧に供するためのものであるのに対して、「アーカイブ」は、記録や資料を記録媒体にかかわらず長期に保存するためのもの。対象物や目的に応じて、言い換え語を工夫したい。

公的な機関が、記録や資料、施設の名称に「アーカイブ」を用いる場合は、説明を付与するなどの配慮が必要である。

その他の言い換え語例

記録 資料 史料 公文書館 文書館 資料館 史料館

複合語例

デジタルアーカイブ = 保存電子資料 電子資料館
フィルムアーカイブ = 保存映画資料 映画資料館

アイデンティティ

言い換え語 独自性 自己認識

用例

アジア社会の文化や歴史を、政治、経済、法律を、その^{独 自 性}アイデンティティを尊重しつつ真摯な態度で学ぼうとする姿勢がうかがわれる。

青少年の^{自 己 認 識}アイデンティティの喪失による思いもかけぬ事件の数々や

意味説明

他者とは違う独自の性質。また、自分を他者とは違うものとする明確な意識。

手引き

変わらない確かな自分を意識している場合は、やや難しい言い方であるが、心理学の専門語である「自己同一性」を用いることもできる。

自分が帰属する社会などを意識している場合は、「帰属意識」ということができる。

正確な概念を伝えたい場合は、説明を付与するのが望ましい。

その他の言い換え語例

自己同一性 帰属意識

複合語例

アイデンティティークライシス = 自己認識の危機
ナショナルアイデンティティ = 国家像 国家帰属感
コーポレートアイデンティティ = 企業イメージの統一

イノベーション

言い換え語 技術革新

用例

情報技術の発達は流通業に大きな影響を与えてきた。技術革新
イノベーションは今後さらに加速化するだろう。

意味説明

経済や産業などの発展につながる，技術や仕組みの革新

手引き

仕組みを革新することを指す場合，「経営革新」「事業革新」などと，何の仕組みかを具体的に示して言い換えるのが分かりやすい。また，文脈によっては単に「革新」と言い換える方が分かりやすい場合もある。

その他の言い換え語例

経営革新 事業革新 革新

インセンティブ

言い換え語 意欲刺激

用例

先生の間に競争原理が働いていないという話が出たが、日本は学生に対す

る意欲刺激
インセンティブもない。

意味説明

ものごとに取り組む意欲を、報酬を期待させて外側から高める働き

手引き

労働や経済などの専門分野で、「誘因」という言い換え語が使われることがあるが、一般に対して伝える場合は、やや分かりにくい面がある。

「モチベーション」(動機付け)が、意欲を内側から高める働きかけであるのに対して、「インセンティブ」は、報酬を期待させた外からの働きかけ。この違いを区別する必要のない場合は、「動機付け」と言い換えることもできる。

成果に報いる報酬そのものを指す場合は、「奨励金」「報奨金」などの言い換え語が適切になる場合もある。企業などの営業努力を高めるための措置を指す場合は、「優遇措置」と言い換えることもできる。

意欲そのものを指して用いられることもあり、その場合は「意欲」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

誘因 動機付け 奨励金 報奨金 優遇措置 意欲

インフラ

言い換え語 社会基盤

用例

下水道や土地改良など市民生活にとって大切な^{社会基盤}インフラの整備に大いに努力された。

意味説明

交通，通信，電力，水道，公共施設など，社会や産業の基盤として整備される施設

手引き

「インフラストラクチャー」の略。

産業の基盤になる施設を指す場合は，「産業基盤」と言い換えるのが適切である。

分野を限定して整備される基盤を指す場合は，「交通基盤」「通信基盤」「金融基盤」などと，何の基盤であるかを具体的に示して言い換えるのが分かりやすい。文脈から何の基盤かが明確である場合は，単に「基盤」と言い換えてもよい。

その他の言い換え語例

産業基盤 交通基盤 通信基盤 金融基盤 基盤

エンパワメント

言い換え語 能力開化 権限付与

用例

開発途上国の女性の^{能力開化}エンパワメントには特に教育が不可欠とされ、会議では開発援助における教育のあり方が議論になった。

女性や社会的に不利な立場にある人々への^{権限付与}エンパワメントは、彼らの経済的な機会の拡大につながる。

意味説明

本来持っている能力を引き出し、社会的な権限を与えること

手引き

能力を引き出す側面に焦点を合わせる場合は「能力開化」、権限を与える側面に焦点を合わせる場合は「権限付与」と言い換えることができる。

権限の大きいところから権限の小さいところに、権限を移すことを指して使われることもあり、その場合は「権限委譲」という言い換え語が適切になる。

「 のエンパワメント」を、「権限付与」「権限委譲」で言い換える場合は、「 への権限付与」「 への権限委譲」とするのがよい。

その他の言い換え語例

権限委譲

エンフォースメント

言い換え語 法執行

用例

各国の代表者から，それぞれ最近の法改正の状況や^{法 執 行}エンフォースメントの状況等について報告がなされます。

意味説明

法律などを実際に守らせるようにすること

手引き

法律以外について使われる場合もあるが，その場合は「執行」あるいは，何についての執行であるかを「 」に示して，「 執行」「 の執行」などと言い換えことができる。

法律などを適用して犯罪を取り締まることを指すときなど，「取り締まり」と言い換える方が分かりやすい場合もある。

力によって平和を強制する場合に使われる際には，「強制」と言い換えるのが適切である。

その他の言い換え語例

執行 取り締まり 強制 強制執行

複合語例

法のエンフォースメント = 法執行

ピースエンフォースメント = 平和強制

オブザーバー

言い換え語 (1) 陪席者 (2) 監視員

用例

(1) 日本も米国、カナダとともに陪席者オブザーバーとして起草に向けた協議に参加してきた。

(2) 新たに両国の漁船に相手国側の監視員オブザーバーが一部乗船することなどが決まった。

意味説明

- (1) 会議などで、議決権はないが、ある目的のために参加を許された人
- (2) 国際間の取り決めなどにおいて、ルールが正しく守られているかを監視する人

手引き

(1) は、「陪席」のほか、指し示す内容に応じて、意見を述べる参考人を表す「意見参考人」、傍聴するだけの「傍聴人」と言い換えることができる場合もある。(1)(2) いずれも、文脈によって英語 observer の原義に近い「観察者」と言い換えることのできる場合もある。

(2) は、監視する人の役割に応じて、「監督者」「審判員」「視察者」などもあわせて、使い分けたい。

その他の言い換え語例

- (1) 意見参考人 傍聴人 観察者
- (2) 監督者 審判員 視察者 観察者

複合語例

- (1) オブザーバー参加 = 陪席参加 傍聴参加
- オブザーバー資格 = 陪席資格 傍聴資格

キャッチアップ

言い換え語 追い上げ

用例

官僚主導で欧米先進経済への追い上げ
キャッチアップを追求してきた日本は

意味説明

優位なものに対して、追い上げ、追いつくこと

手引き

追い上げること、追いつくことのどちらに重点があるかによって、「追い上げ」「追いつくこと」などを使い分けるのが望ましい。

動詞として用いられる場合は、「追い上げる」「追いつく」などと言い換えられる。

その他の言い換え語例

追いつくこと

グランドデザイン

言い換え語 全体構想

用例

2期工事が予算編成時期に繰り返し問題視される背景には、国土交通省が
国際空港の^{全体構想}グランドデザインを描き切れていないことがある。

意味説明

全体を長期的，総合的に見わたした構想

手引き

類語の「マスタープラン」は、「基本計画」と言い換えることができる。

グローバリゼーション

全 体 60 歳 以上

言い換え語 地球規模化

用例

地球規模化 地球規模化
グローバリゼーションと反グローバリゼーションという世界的問題も実は
米国基準の国際化問題と重複している部分が多い。

意味説明

ものごとの規模が国家の枠組みを越え、地球全体に拡大すること

手引き

地球全体の規模に拡大することを意味する「地球規模化」と言い換えるのが、
分かりやすい。地球全体がひとつになることに着眼して、「地球一体化」と
言い換えることもできる。中国語で用いられている「全球化」も、端的で分
かりやすい場合がある。

「国際化」は国家を前提としたものであるのに対し、「地球規模化」は国家
を前提としておらず、国家を越えて世界を一つにするものである。

「グローバル化」「グローバリゼーション」も「グローバリゼーション」
に同じ。

その他の言い換え語例

地球一体化 全球化

グローバル

言い換え語 地球規模

用例

湖沼会議は参加者，中でも一般の住民にとって，^{地球規模の}グローバルな環境問題についてきちんと認識できる格好の機会となる。

意味説明

ものごとの規模が国家の枠組みを越え，地球全体に拡大している様子

手引き

地球全体に広がっている様子に着眼する場合は「地球規模」と言い換えられるが，地球全体がひとつである様子に着眼すれば「全地球的」「全球的」とも言い換えられる。「全球的」は中国語で「グローバル」の訳語として用いられている。

「グローバルな」には用例に見るように「地球規模の」を当てるとよい。「グローバルに」は「地球規模で」と言い換えられる。

「グローバリズム」は「地球主義」と言い換えられる。

類語に「ワールドワイド」があり「世界規模」と言い換えられる。

その他の言い換え語例

全地球的 全球的

複合語例

グローバル企業 = 多国籍企業 超国籍企業 超国家企業

グローバル経済 = 地球経済 世界経済

グローバル社会 = 地球社会 全世界

グローバルスタンダード = 世界標準

ケーススタディー

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 事例研究

用例

野党案が法制化された場合，どのような政治活動が規制されるのか，

事例研究
ケーススタディーを試みた。

意味説明

ある問題の具体例を詳しく分析して，一般的な真実を導き出す研究方法

コア 全 体 60 歳 以上

言い換え語 中核

用例

新商品の^{中核}コアとなる技術の共有にまで踏み込む。

意味説明

ものごとの中核となるもの

手引き

始業や終業の時間を従業員が自由に選択できる自由勤務時間制（フレックスタイム制）において、必ず就業しなければならない中核となる時間帯を、「コアタイム」という場合がある。サラリーマンにはなじみのある語であるが、一般に対しては分かりにくく、「拘束時間帯」と言い換えることができる。

他社には模倣できない、自社の中核的な技術や知識を、「コアコンピタンス」という場合があるが、「得意技術」「得意分野」などと言い換えることができる。

その他の言い換え語例

核 中心

複合語例

コア指数 = 核指数 コアビジネス = 中核事業
コアタイム = 拘束時間帯
コアコンピタンス = 得意技術 得意分野

コミュニケ

言い換え語 共同声明

用例

ニューデリーで開いていた日米欧七カ国や新興市場国など二十カ国・地域の財務相・中央銀行総裁会議は二十三日、共同声明 コミュニケを採択し閉幕した。

意味説明

国際会議での合意内容を表した公式文書

手引き

外交用語として、「声明」「宣言」などと区別する必要がある場合は、「コミュニケ」を用いて、説明を付与するとよい。

その他の言い換え語例

公式声明

複合語例

共同コミュニケ = 共同声明

コミュニティ

言い換え語 地域社会 共同体

用例

入居者が一時期に集中したことに伴う高齢化の急速な進行や転出者の増加

等により、地域社会、コミュニティの活力の低下が懸念される事例も見受けられる。

環境負荷の少ない発電に賛同する人の共同体、コミュニティができたので

意味説明

居住地や関心を共にすることで営まれる共同体

手引き

地域性による結びつきの場合は「地域社会」、共通の関心などによる結びつきを重視する場合は「共同体」と言い換えられる。その両方の意味を生かしたい場合は「地域共同体」とすることもできる。文脈によっては、単に「地域」「社会」で言い換えられる場合もある。

定着に向かっている語だと思われ、「コミュニティ」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

地域共同体 地域 社会

複合語例

地域コミュニティ = 地域社会
コミュニティビジネス = 地域事業
コミュニティバス = 地域バス
コミュニティFM局 = 地域FM局
コミュニティセンター = 交流会館
コミュニティールーム = 地域交流室

コラボレーション

言い換え語 共同制作

用例

日本画・華道・陶芸という伝統分野で独自の表現を追求している作家3人

の共同制作
のコラボレーション。

意味説明

異分野の者同士が、力を出し合って共同で作り上げること

手引き

事業などを共同で行うことについていう場合は、「共同事業」などと言い換えられる。研究や作業などを行う場合は、「共同研究」「共同作業」でよい。

労働や経済の分野などで協力して働くことをいう場合は、「協働」と言い換えることもできる。

その他の言い換え語例

共同事業 共同研究 共同作業 協働

コンセプト

言い換え語 基本概念

用例

携帯電話を活用した，インターネット網の構築という基本概念は，ある女性実業家を中心に開発されたものです。

意味説明

事業や開発を進める際の，基本となる考え方

手引き

単なる概念や考えではなく，事業や開発などの基本となる，これまでになかった概念を指して使われることが多い。基本となる理念や発想を指す場合は，「基本理念」「基本発想」などと言い換えることができる。

製品開発における基本理念を示す試作品を指す複合語例は，「試作」を含む複合語で言い換えることができる。

その他の言い換え語例

基本理念 基本発想 概念

複合語例

基本コンセプト = 基本概念
コンセプトカー = 試作車 コンセプトモデル = 試作モデル

サマリー

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 要約

用例

何よりも有り難かったのは、十九世紀までの本にはよく欄外に^{要 約}サマリーが
つけてあったものです。

意味説明

議論や情報などの重要な部分だけを簡潔にまとめたもの

手引き

会議で議長が発表するものは「総括」、市場の状況を知らせるものは「概要」
など、議論や情報の種類によって、言い換え語を使い分けるのが望ましい。

その他の言い換え語例

要旨 総括 概要

複合語例

議長サマリー = 議長総括

マーケットサマリー = 市場概要

シミュレーション

言い換え語 模擬実験

用例

洪水災害は昨年九月の東海豪雨と庄内川のはんらんを想定した
模 擬 実 験
シミュレーションをもとに算出される最大被害を基準にすることを決めた。

意味説明

計算や模擬装置などにより，起こり得る状況をさまざまに想定して行う実験

手引き

計算や模擬装置を用いることに着眼して「模擬実験」と言い換えるのが分かりやすいが，文脈によっては，状況を想定することに着眼して「想定実験」と言い換える方が分かりやすい場合もある。

指し示す内容が実験とは言いにくい場合は，「模擬行動」「模擬訓練」など，「模擬 」「想定 」の，「 」の部分工夫して言い換えるとよい。動詞用法で，「模擬実験する」「想定実験する」などの四字熟語が使いにくいと思われる場合は，「模擬実験を行う」「想定実験を行う」「模擬的に実験する」「想定して実験する」などの言い方にするのもよい。

定着に向かっている語だと思われ，「シミュレーション」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。特にコンピューターを使った計算による実験を指して用いられる場合は，「シミュレーション」を用い，分かりにくい向きに対しては，説明を付ける方法も考えられる。

ただし，60 歳以上では半数以上が分からない語であり，言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

想定実験 模擬行動 模擬訓練

複合語例

シミュレーション実験 = 模擬実験 想定実験

スクーリング

言い換え語 登校授業

用例

基本は経済企画庁の発行するテキストを使っての自宅学習。十二月までの
三か月間に^{登校授業}スクーリングのほか、レポートの提出などを行う。

意味説明

通信教育課程で、一定期間義務づけられた、登校による授業

手引き

通信教育であることが不明な文脈では、「(通信教育における)登校授業」などのように、説明を補う方が分かりやすい。

学校に登校するものでなく、実地に出向いて教育を受ける形のもの場合は、「実地教育」と言い換えられる。

複合語「ホームスクーリング」は、学校に行かないで自宅で教育を受けること。

その他の言い換え語例

面接授業 実地教育

複合語例

ホームスクーリング = 在宅教育

セーフティーネット

言い換え語 安全網

用例

今日においても社会保障制度の最後の^{安 全 網}セーフティーネットである生活保護制度がその期待される役割を適切に果たしていけるよう，制度全般について引き続き議論していくこととしている。

意味説明

経済的な危機に陥っても，最低限の安全を保障してくれる，社会的な制度や対策

手引き

社会保障制度，金融機関破綻の際の預金者保護制度など，一部の危機が全体に及ばないようにするための安全保障制度や安全対策を指す。

サーカスなどで落下防止のために張る網を指す語が，社会的な安全保障の制度を指すようになったもの。

その他の言い換え語例

安全保障制度 安全対策

セクター

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 部門

用例

これまで非競争的で政府依存度の高かったセクター^{部 門}は、今後抜本的なリストラを余儀なくされ、自己責任と自立を迫られることになる。

意味説明

産業などにおいて、いくつかの部門に分けたときのひとつ

手引き

「第三セクター」という形で目にすることが多いが、必要に応じて「半官半民」「半官半民企業」などと言い換えることができる。

航空管制の専門語で「セクター」と言われることがあるが、一般向けには「区域」などと言い換えるか、説明を加えることが望ましい。

その他の言い換え語例

区域

複合語例

第三セクター = 半官半民 半官半民企業

タスク

言い換え語 作業課題

用例

金銭的な手当だけでなく，社員の達成感を引き出す点を重視している。難

しいと思われる^{作業課題}タスクをあえて与え，挑戦してもらう。

意味説明

処理しなければならない作業課題

手引き

文脈によって，単に「課題」「作業」「処理」で言い換えることのできる場合もある。

その他の言い換え語例

課題 作業 処理

複合語例

マルチタスク = 多重処理 複数作業の同時処理

タスクフォース

言い換え語 特別作業班

用例

E Uはサミットで為替安定の抜本策を探る，E Uと先進七か国による
特別作業班
タスクフォースの設置を提案する。

意味説明

特定の課題について短期間で解決をはかるために，特別に編成された集団

手引き

委員会などの中で具体的な作業や調査を行う「ワーキンググループ」は「作業部会」，新しい企画に向かって活動を行う「プロジェクトチーム」は「企画部会」と，言い換えられる。

ダンピング

言い換え語 不当廉売

用例

第三世界の市場で、欧米諸国の余剰農産物の^{不当廉売}ダンピングを中止することだ。

意味説明

公正な競争を妨げるほど不当に安い価格で販売すること

手引き

外国との貿易で、国内価格より大幅に安く販売することをいう場合が多い。

「不当廉売」と言い換えるのが分かりやすいが、「不当廉売」は、外国との貿易とは無関係に、法律用語として厳密な定義をもって用いられることもある。法律に照らした議論をする場合など、「ダンピング」の意味を厳密に伝えたい場合は、言い換えではなく、むしろ説明を付与して用いることが必要である。

最近になって、以前よりも使われることの少なくなってきた語であり、全体よりも 60 歳以上の方が理解度が高く、分かりにくい外来語のなかでは特異な語である。国民の半数以上が意味の分からない語であるので、言い換えや説明が必要になる場合も多い。

トレンド

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 傾向

用例

いずれの産業においても生産性は改善している一方、雇用減少の傾向^{傾 向}トレンドを覆すには至っておらず雇用量は減少している。

意味説明

ある方向へ変化していく，全体的な傾向

手引き

株価や金利などについていう場合は「動向」，風俗やファッションに関していう場合は「流行」と言い換える方が分かりやすい場合もある。

定着に向かっている語だと思われ、「トレンド」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし，60 歳以上では半数以上が分からない語であり，言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

動向 流行

ノーマライゼーション

言い換え語 等生化 等しく生きる社会の実現

用例

養護学校との情報交換や等 生 化ノーマライゼーションの理念を教職員や保護者，地域などに浸透させることを提言するものとみられる。

意味説明

障害のある人も，一般社会で等しく普通に生活できるようにすること

手引き

これからの社会の重要な概念になると考えられ，概念の普及のためにも，分かりやすい言い換えや説明が必要である。

これまで「共生化」と言い換えられることが多かったが，「共生」は，人間と野生動物との共生，多民族間の共生など，使われる分野が広くなり過ぎ，分かりにくくなる問題がある。「ノーマライゼーション」の意味概念をそのまま移し替えることのできる新語として，「等生化」を提案したい。どの言い換え語を使う場合も，当面は，説明を付与するなどの配慮が必要である。話し言葉では「等しく生きる社会の実現」のような言い換えも，耳で聞いて分かりやすい。

「ノーマライゼーション」は，これまでの福祉が，障害者を一般社会から引き離して，特別扱いする方向に進みがちであったのに対して，すべての人が，同じ人として普通に生活を送る機会を与えられるべきであるという，新しい福祉の考え方を提唱する語である。

この考え方にもとづいて，実際に福祉環境をきめ細かく整備していこうとする場合は，「福祉環境作り」と言い換えることも有効である。

障害者だけでなく，高齢者などを含める場合もあるので，説明を付与する場合は，文脈に応じて工夫する必要がある。

その他の言い換え語例

共生化 福祉環境作り

バーチャル

言い換え語 仮想

用例

テレビゲーム , 携帯電話の普及などによって , 子どもの実生活が分断され , 分断された子どもの世界に , 仮想のバーチャルな世界が侵入してきたのである。

意味説明

現実そっくりにつくられ , あたかも現実の世界であるかのような様子

手引き

英語 virtual は , 表面上は違うが実質そのものである様子を意味し , 「実質上」などと訳されている。外来語「バーチャル」は , 現実そっくりではあるが仮想の世界である様子の意味で用いられ , 英語と大きくずれた意味で受け入れられており , 言い換え語としては「仮想」が適当である。

「バーチャルな」には , 用例に見るように「仮想の」を当てるとよい。

その他の言い換え語例

仮想世界

複合語例

バーチャルモール = 電子商店街

バーチャルリアリティー = 仮想現実 人工現実感

パートナーシップ

言い換え語 協力関係

用例

行政とNPOとの間に対等な^{協 力 関 係}パートナーシップが生まれるまでには、県だけでなく市町村も含めた行政の大きな意識転換が必要だ。

意味説明

共同で何かを行うための、対等な協力関係

手引き

事業を行うために緊密な協力関係を結ぶ場合など、「提携」という言い換え語が適切になる場合もある。また、企業が共同経営を行う事業体という意味で使われる経済の専門語を一般向けに言い換える場合は、「共同経営体」が分かりやすい。

定着に向かっている語だと思われ、「パートナーシップ」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

提携 共同経営体

バックアップ

言い換え語 (1) 支援 (2) 控え

用例

(1) 現場の負担を軽減するためには、国による財政的な^{支 援}バックアップがどうしても必要だ。

(2) 万一データがなくなっても、^{控 え}バックアップを取っていれば再度書き込んで元通りに使える。

意味説明

- (1) 他人の行動を、うしろだてとなって支援すること
- (2) 事故にそなえて控えを作ること。また、その控え。

手引き

(1) は、スポーツでボールを取る人の後ろに回って守備することを指す場合など、「バックアップ」がかなり定着していると思われる用法もあるが、分かりにくいと感じる向きもあり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

(2) はコンピューターを使う人にとっては定着した語であるが、コンピューターを使わない人には分かりにくさが残る。必要に応じて、言い換えたり説明を付与したりすることが望まれる。

文脈によって、(1)「援護」「うしろだて」、(2)「予備」「複製」などの、言い換え語が適切になる場合もある。

動詞として使われる場合は、(1)「支援する」「援護する」、(2)「控えを取る」「予備を取る」「複製する」などと、言い換えることができる。

その他の言い換え語例

- (1) 援護 うしろだて
- (2) 予備 複製

ビジョン

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 展望

用例

株安の根底には、二十一世紀の日本経済への^{展 望}ビジョンが、まだ、明確でないという問題がある。

意味説明

将来、望まれるものとして、心に描く展望

手引き

映像を映し出す装置を指す場合もあり、「画面」と言い換えることができる。

定着に向かっている語だと思われ、「ビジョン」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

画面

フレームワーク

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 枠組み

用例

インフレ目標政策はルールではなく、金融政策を運営する上での
枠 組 み
フレームワークを設定するものである。

意味説明

何かを行うときの大本になる基本的な枠組み

ベンチャー

言い換え語 新興企業

用例

骨の再生医療分野に特化した**新興企業**ベンチャーは日本では初めてという。

意味説明

大企業が行っていない分野で、新たな事業を起こす中小規模の企業

手引き

新たに事業を起こすことを指す場合は「起業」、その人を指す場合は「起業家」と言い換えることができる。

さまざまな語と組み合わせさせて多様な複合語を構成するが、**複合語例**に示すように、言い換え語には工夫が必要になる。

その他の言い換え語例

起業 起業家

複合語例

ベンチャー企業 = 新興企業
ベンチャービジネス = 新興ビジネス
ベンチャー精神 = 起業精神 ベンチャー支援 = 起業支援
ベンチャーキャピタル = 起業投資 起業投資会社
ジョイントベンチャー = 共同企業体

ボーダーレス

言い換え語 無境界 脱境界

用例

政党としての独自性などという言葉が聞かれなくなるほど政党は
無境界
ボーダーレスの時代を迎えている。

不況から抜け出せない時代を象徴した芥川賞，脱境界
ボーダーレスが進む多民族
社会を描いた直木賞と，それぞれに現代に生きる人間を切り取った作品だ。

意味説明

境界が薄れて存在しない様子。また，そのようになること。

手引き

境界がなくなった様子をいう場合は「無境界」，境界の意識が弱くなること
がらをいう場合は「脱境界」と言い換えるのが，望ましい。

「ボーダーレスな」「ボーダーレスの」の場合は，「境界のない」と言い換える
こともできる。

国と国の境界をいう場合は，「無国境」「脱国境」「国境なし」などと言い換
えるのも分かりやすい。

その他の言い換え語例

境界なし 無国境 脱国境 国境なし

複合語例

ボーダーレス化 = 無境界化 無国境化 脱境界 脱国境

ポテンシャル

言い換え語 潜在能力

用例

学力だけで判定するのは、一見公平に見えるが、そこで問われるのは理解力であり、人間の^{潜在能力}ポテンシャルとして大切な認識力が全く問われない。

意味説明

潜在的に持っている可能性としての力

手引き

「成長ポテンシャル」「発展ポテンシャル」「開発ポテンシャル」「回復ポテンシャル」など、将来的展望を表す複合語の場合には「可能性」と言い換えてもよい。

「ポテンシャルな」の形で用いられるときは、「潜在的な」と言い換えられる。

その他の言い換え語例

可能性 潜在力 潜在的

マーケティング

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 市場戦略

用例

販売競争の激化が続く昨今の状況下にあっては、市場戦略の重要性がいわれているが

意味説明

販売拡大を目的として、市場に対して戦略的に取り組むこと

手引き

市場戦略に基づき行動を起こす場合は「市場活動」、市場での調査や分析を行う場合は「市場調査」「市場分析」などが適切になる。

定着に向かっている語だと思われ、「マーケティング」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

市場活動 市場調査 市場分析

複合語例

マーケティングリサーチ = 市場調査

マクロ 全 体 60 歳 以上

言い換え語 巨視的

用例

巨視的な
マクロの財政金融政策の動向について分析した。

意味説明

全体的な見地からものごとを見る様子

手引き

「マクロの」は、用例に見るように「巨視的な」と言い換えることができる。
「マクロで」は、「巨視的に」と言い換えられる。

対語の「ミクロ」は「微視的」と言い換えられる。

複合語例

マクロ的 = 巨視的
マクロ面 = 巨視的側面

マネジメント

言い換え語 経営管理

用例

研究開発の責任者と^{経営管理}マネジメントの責任者を分離し,前者には国際的水準の研究開発実績を有する者を,後者には研究開発と経営の経験をともに持つ者を充てる。

意味説明

経営や運営について,組織だって管理すること。

手引き

管理のありようによって,「運営管理」と言い換える方が分かりやすい場合もある。「管理」の「」の部分,工夫して言い換えることも効果的である。また,単に「管理」と言い換えることで十分な場合も多い。

稀に,管理する人を指す場合があるが,その場合は「管理者」と言い換えられる。

定着に向かっている語だと思われ,「マネジメント」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし,60歳以上では半数以上が分からない語であり,言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

運営管理 管理 管理者

複合語例

アセットマネジメント = 資産運用
ケアマネジメント = 在宅介護支援
リスクマネジメント = 危機管理
マネジメントシステム = 管理システム

マルチメディア

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 複合媒体

用例

さらに一歩進めて、音声、データ、映像など^{複合媒体}マルチメディアを簡単に扱えるようにしたのが第3世代と呼ばれる次世代携帯電話だ。

意味説明

音声・文字・映像など、多種類の情報を組み合わせた伝達媒体

手引き

双方向的で高速なデジタル情報の伝達に用いられる、コンピューターをはじめとした情報手段を指すことが多い。

定着に向かっている語だと思われ、「マルチメディア」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

ミスマッチ

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 不釣り合い

用例

企業の求人意欲が回復してきたとはいえ、求職者との^{不釣り合い}ミスマッチが大きく、完全失業者数は十六カ月連続で増えている。

意味説明

関係あるふたつの物事の調和が悪く、不釣り合いなこと

手引き

硬い文体で用いる場合は、「不適合」「不調和」などと言い換えるのが望ましい。

定着に向かっている語だと思われ、「ミスマッチ」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

不適合 不調和

モニタリング

言い換え語 継続監視

用例

関係国がSO_x、NO_x等の酸性雨原因物質の削減を進めるとともに、共同で酸性雨や森林の継続監視モニタリング、影響の解明などに努めています。

意味説明

継続的に観測して監視すること

手引き

単に「監視」「観測」だけで言い換えられる場合もある。

「サーベイランス」(調査監視)が、病気や、政治経済の悪い部分を見逃さないようによく調べて監視することをいうのに対して、「モニタリング」は、変化を見逃さないように観測を続けて監視することをいう。

その他の言い換え語例

監視 観測

複合語例

モニタリングポスト = 放射線観測装置

モラルハザード

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 倫理崩壊

用例

少年たちによる殺人事件の多発，^{倫理崩壊}モラルハザードが叫ばれる大人社会，自己中心性の肥大化など社会病理現象があらわになっている。

意味説明

倫理観や道徳的節度がなくなり，社会的な責任を果たさないこと

手引き

本来は保険用語で，保険をかけてあるからと故意や不注意で事故を起こしてしまう危険性をいった。経済全般での倫理の欠如による行為に広がり，さらに経済以外の領域にも拡大して，使われている。

その他の言い換え語例

倫理欠如 倫理の欠如

ライブラリー

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 図書館

用例

住宅の専門書，雑誌を集めた図書館ライブラリーも設置されている。

意味説明

図書などの資料を収集し閲覧に供する施設

手引き

図書以外を収蔵する施設に用いられることも多いが，指し示すものに応じて，「ビデオ図書館」などのように，収蔵する対象を明示するとよい。また，「図書館」が使いにくい場合は，「資料館」あるいは，収蔵する対象を「 」に明示して，「 資料館」などと言い換えるとよい。

収集したり閲覧に供したりする機能に着眼する場合は，「収蔵館」「閲覧所」と言い換えることもできる。

個人的な蔵書を収蔵する場所を指す場合は「書庫」，図書のシリーズを指す場合は「そう書」と言い換えられる。

「アーカイブ」が，記録や資料を長期に保存するためのものであるのに対して，「ライブラリー」は，図書をはじめとする資料を収集し閲覧に供するためのもの。対象物や目的に応じて言い換え語を工夫したい。

定着に向かっている語だと思われ，「ライブラリー」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし 60 歳以上では，半数以上が分からない語であり，言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

資料館 収蔵館 閲覧所 書庫 そう書

リアルタイム

言い換え語 即時

用例

通信衛星の利用によって運搬処理車の位置など廃棄物の処理状況を

即時リアルタイムに把握できるため、不法投棄の防止にもつながるという。

意味説明

ふたつのことがらの間に、時間のずれがないこと

手引き

専門分野では「実時間」と言い換えられることがあるが、一般に対してはやや分かりにくい。「即時」のほか、文脈によっては、「同時」あるいは「同時進行」の言い換え語が適切になる場合もある。

「リアルタイムで」は「即時に」「同時に」「同時進行で」、「リアルタイムな」は「即時の」「同時進行の」と言い換えられる。

定着に向かっている語だと思われ、「リアルタイム」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし 60 歳以上では、半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

同時 同時進行 実時間

ログイン

言い換え語 接続開始

用例

パスワードの有効期限は約 3 ヶ月とし、これを過ぎると^{接続開始}ログインの際にパスワードの変更が必要となる。

意味説明

コンピューターシステムを使うための接続開始の手続き

手引き

接続することよりも利用することに着眼して「利用開始」と言い換えることもできる。文脈によっては、単に「接続」「利用」と言い換える方が分かりやすい場合もある。

接続開始のための手続き自体を指す場合には、「接続登録」「利用登録」と言い換えるとよい。また、接続の前に、名前やパスワードで確認する手続きを指す「認証」で言い換えられることもある。

「ログオン」も同じ意味で使われ、「ログイン」の場合と同じ言い換え語や説明付与が適用できる。反意語「ログアウト」「ログオフ」は、「接続解除」「利用終了」「切断」などと言い換えられる。

コンピューターに詳しい人にとってはある程度定着しつつある語であるが、コンピューターをあまり使わない人には分かりにくさが残る。必要に応じて、言い換えたり説明を付与したりすることが望まれる。

その他の言い換え語例

利用開始 接続 利用 接続登録 利用登録 認証

複合語例

ログイン名 = 接続登録名 利用登録名

ワークショップ

全 体 60 歳 以 上

言い換え語 研究集会

用例

公園や道路，福祉施設などの企画・設計を区民による研究集会
ワークショップで話し合い

意味説明

専門家の助言を受けながら，参加者が共同で研究や創作を行う場

手引き

研究の場の場合は「研究集会」，演劇など創作の場合は「創作集会」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

参加型講習会 創作集会

国立国語研究所「外来語」委員会 設立趣意書

この委員会は、分かりにくい「外来語」について言葉遣いを工夫し提案することを目的としています。

外来語・外国語の問題点

近年、片仮名やローマ字で書かれた目新しい外来語・外国語が、公的な役割を担う官庁の白書や広報紙、また、日々の生活と切り離すことのできない新聞・雑誌・テレビなどで数多く使われていると指摘されています。例えば、高齢者の介護や福祉に関する広報紙の記事は、読み手であるお年寄りに配慮した表現を用いることが、本来何よりも大切にされなければならないはずです。多くの人を対象とする新聞・放送等においても、一般になじみの薄い専門用語を不用意に使わないよう十分に注意する必要があります。ところが、外来語・外国語の使用状況を見ると、読み手の分かりやすさに対する配慮よりも、書き手の使いやすさを優先しているように見受けられることがしばしばあります。

伝え合いとしての言葉を

そもそも、どんな言葉を使うのが適切かということは、話し手・書き手の意図、想定される聞き手・読み手、話題、使われる環境など、その時々さまざまな条件によって変わります。同じ内容の話をするにしても、大人に話すときと子供に話すときとは、使う単語、声の調子、話す速さ、文の長さなどが変わってきて当然です。また、同じ大人でも、相手がその話題に通じているかどうかによって、言葉選びや言葉遣いに自ずと違いが出てきます。相手や場面に応じて、適切な言葉遣いが変わることにいつも留意することが大切です。このことは、私達の言葉について国語審議会がかねて提言してきた「平明で、的確で、美しく、豊かであること」を実現する具体的な努力の一つと考えます。

分かりやすい言葉を求めて

外来語には、これまで日本になかった事物や思考を表現する言葉として、日本語をより豊かにするという優れた面もあります。しかしその一方で、むやみに多用すると円滑な伝え合いの障害となる面も出てきます。とりわけ官庁・報道機関など公共性の強い組織が、なじみの薄い外来語を不特定多数の人に向けて使用するとき、そこにさまざまな支障が生じることになります。これらの組織ではそうした事態を招かないよう、それぞれの指針に基づいて言い換えや注釈などの工夫を施した上で外来語を使用することが大切です。それと同時に、その指針や工夫を公共の財産として共有する方向に進んでいくことが望ましいとも考えます。

委員会の目指すところ

以上のような認識に立って、この委員会では、まず国の省庁の行政白書を、その後は新聞や雑誌など公共性の強いものを対象として、一般に分かりにくい外来語が使われていないか、使われていればそれに換えるべき分かりやすい言葉や表現としてどんなものがあるかを検討します。そして、それに基づいて個々の外来語に対する考え方やその言い換え例を含めた、緩やかな目安・よりどころを具体的に提案することを目指しています。この委員会の提案がきっかけとなり、より多くの人々がそれぞれの立場で、私達の大切な日本語について考えていく機会が生まれることになれば幸いです。

委員名簿

- 委員長 甲 斐 睦 朗（国立国語研究所長）
- 副委員長 水 谷 修（名古屋外国語大学長）
- 副委員長 中 西 進（帝塚山学院長）
- 相 澤 正 夫（国立国語研究所研究開発部門長）
- 阿 辻 哲 次（京都大学大学院人間環境学研究科教授）
- 倉 島 節 尚（大正大学文学部教授）
- 神 津 十 月（作家）
- 古 賀 節 子（青山学院大学名誉教授）
- 輿 水 優（日本大学文理学部次長）
- 小 森 政 道（小学館コミュニケーション編集局次長）
- 柴 田 実（NHK 放送文化研究所用語研究班主任研究員・解説委員）
- 陣 内 正 敬（関西学院大学総合政策学部教授）
- 関 根 健 一（読売新聞東京本社校閲部次長）
- 田 中 牧 郎（国立国語研究所研究開発部門第一領域主任研究員）
- 鳥 飼 玖美子（立教大学観光学部・異文化コミュニケーション研究科教授）
- 中 山 恵利子（阪南大学国際コミュニケーション学部助教授）
- 長谷川 眞理子（早稲田大学政治経済学部教授）
- 福 田 亮（朝日新聞東京本社校閲部用語幹事補佐）
- 松 岡 和 子（翻訳家・演劇評論家）
- 山 崎 誠（国立国語研究所研究開発部門第一領域長）